

研修会報告

令和 7 年 11 月 9 日

文 責：小泉 照樹

研修会テーマ「2025 年度宮臨技病理・細胞診部門研修会

～細胞診の基礎（問題出題形式による細胞同定）～」

開催日時 令和 7 年 11 月 9 日（日）13：00 ～16：30

会 場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司 会 小泉 照樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 27 名 入会申請中会員 0 名 非会員 2 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 29 名

講演 1「問題出題形式による細胞同定」

講演 2「細胞検査士資格認定試験体験談」

東北大学病院 病理部 田口 玲奈 技師

講演 3「呼吸器細胞診の採取法による違い」

宮城県対がん協会 細胞診センター 大内 詩穂美 技師

講演 4「問題出題形式による細胞同定 解答解説」

東北大学病院 病理部 今野 かおり 技師

仙台厚生病院 病理診断科 尾池 裕子 技師

国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科 齋藤 邦倫 技師

東北大学病院 病理部 菅原 隆義 技師

東北大学病院 病理部 小泉 照樹 技師

内容

今年も昨年度同様に同定問題出題形式の Web 研修会を開催した。

はじめに同定問題 33 問の症例画像を供覧し、事前に配布した解答用紙を用いて参加者各自で解答する実習形式の研修会として実施した。その後、詳細な解答と解説を行った。解説では正解となる症例の細胞所見だけでなく、可能な限り鑑別症例の写真も交えて詳細に行うよう努めた。有資格者にとっては日頃あまり経験できない領域を含む全領域を網羅した細胞像の再確認に、これから細胞検査士資格認定試験を受験する技師にとっては模擬試験として活用してもらえたのではないかと思います。

また、出題と解説の間には「細胞検査士資格認定試験体験談」と題し、今年度は昨年度の細胞検査士資格認定試験合格者である東北大学病院の田口玲奈技師にご講演いただいた。

本企画は例年好評であり、試験の出題傾向や会場の様子などのほか、受験前段階における注意点等についても自身の経験を交えた講演でありとても参考になるものであった。直近の合格者の生の声を聴けることは、今年度受験予定の技師に対してのみならず後進の育成・指導を行う立場の者にとっても有益であったのではないかと感じる。

昨年度より解答解説以外の教育的試みとして基礎的な教育講演を取り入れ、今年度は宮城県対がん協会の大内詩穂美技師に「呼吸器細胞診の採取法による違い」と題して日常業務を行う上で大変重要となる基礎的な内容で講演いただいた。採取法の対比を軸にした内容であったため大変理解しやすく、学びの多い講演であった。

例年県外からの参加者も多く昨年度同様の開催方式ではあったが、実施後のアンケート内では Web 開催を望む声も多く、開催方式には引き続き検討を加えていきたい。今後も会員の細胞診に関する知識向上および実力アップに繋がるよう、Web または顕微鏡を用いた方式で行う際の最良な実施方法を模索しつつ、問題出題形式（実習形式）の研修会は続けていきたいと考える。